

東濃地科学センターの状況

1. 瑞浪超深地層研究所研究坑道埋め戻し
 - ・研究坑道の埋め戻しを終了（2021/12/2）、構内整理作業を実施中
2. 土岐地球年代学研究所施設運転状況
 - ・加速器質量分析装置(AMS)：メンテナンス中（2021/7/12～）
3. 地質環境の長期安定性に関する研究
 - ・調査技術の開発・体系化を継続
 - ・長期予測・影響評価モデルの開発を継続
 - ・年代測定技術の開発を継続
4. 地下水の環境モニタリング調査
 - [瑞浪超深地層研究所用地]
 - ・深度 300m のボーリング横坑（換気立坑）における鉛直ボーリング孔（09MI17-1・09MI19 号孔）を用いた地下水水圧観測を継続
 - ・深度 100m、深度 200m、深度 300m 及び深度 400m の水平坑道（予備ステージ）における水平ボーリング孔（05MI01・07MI07・09MI20・10MI26 号孔）を用いた地下水水圧・水質観測を継続
 - ・深度 300m 研究アクセス坑道における水平ボーリング孔（10MI23 号孔）を用いた地下水水圧観測を継続
 - ・深度 300m 研究アクセス坑道における水平ボーリング孔（09MI21 号孔）を用いた地下水水圧・水質観測を継続
 - ・深度 500m 研究アクセス南坑道における水平ボーリング孔（12MI32 号孔）を用いた地下水水圧・水質観測を継続
 - ・深度 500m 研究アクセス北坑道におけるボーリング孔（12MI33）を用いた地下水水圧・水質観測を継続
 - ・深度 500m 研究アクセス北坑道におけるボーリング孔（13MI39～41）を用いた地下水水圧観測を継続
 - ・深度 500m 研究アクセス北坑道、予備ステージ、冠水坑道での地下水水圧・水質観測を継続
 - ・地表からのボーリング孔（MSB-1-4・05ME06 号孔・MIZ-1 号孔）を用いた地下水水圧・水質観測を継続
 - ・換気立坑接続部（深度 500m、深度 400m、深度 300m、深度 200m、深度 100m）での水圧・水質観測を継続
 - ・主立坑、換気立坑での地下水水質観測を継続
 - [正馬様用地]
 - ・地表からのボーリング孔（AN-1, MIU-2～4 号孔）を用いた地下水水圧観測を継続
 - [広域地下水流動研究対象地域]
 - ・地表からのボーリング孔（DH-2, 10, 11, 13, 15 号孔）を用いた地下水水圧・水質観測を継続
5. 瑞浪超深地層研究所環境調査
 - ・流量観測を継続（狭間川）
 - ・水位観測を継続（研究所周辺井戸）
 - ・研究所周辺の環境管理測定を継続
 - ・環境保全協定に基づく排出水等の測定を継続
6. 瑞浪超深地層研究所における施設利用等
 - ・東濃地震科学研究所の施設利用（研究坑道内に設置した応力計、地震計及び水圧計による観測）を継続
7. その他
 - ・開催を延期していた東濃地科学センター「サイエンスカフェ（鉱物が光る？発光現象をつかった年代測定）」を開催予定（1/22）